

第 119 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当 座 預 金	受 取 手 形	有 価 証 券	未 収 入 金
前 払 金	立 替 金	手 形 貸 付 金	土 地
仮 払 金	支 払 手 形	未 払 金	前 受 金
預 り 金	手 形 借 入 金	仮 受 金	資 本 金
引 出 金	売 上	受 取 手 数 料	受 取 利 息
固 定 資 産 売 却 益	仕 入	給 料	旅 費 交 通 費
手 形 売 却 損	支 払 手 数 料	支 払 利 息	固 定 資 産 売 却 損

1. 以前に売上代金の一部として受け取っていた得意先振り出しの約束手形 ¥ 20,000 を取引銀行で割引き、割引料として ¥ 500 を差し引かれた手取金は当座預金とした。
2. 他社が発行する株式 2,000 株を 1 株あたり ¥ 100 で買い入れ、代金は証券会社に対する売買手数料 ¥ 2,000 とともに、小切手を振り出して支払った。
3. 約束手形を振り出して ¥ 300,000 を借り入れ、その全額が当座預金の口座に振り込まれた。
4. 従業員が出張から戻ったので、旅費の精算を行い、残金 ¥ 20,000 を現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。なお、従業員に対しては、出張に当たり、旅費の概算額 ¥ 100,000 を手渡していた。
5. 以前に購入した土地（購入価格 ¥ 1,000,000 、購入手数料 ¥ 30,000 ）を、¥ 1,100,000 で売却し、代金は後日受け取ることにした。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金 手形売却損	19,500 500	受取手形	20,000
2	有価証券	202,000	当座預金	202,000
3	当座預金	300,000	手形借入金	300,000
4	当座預金 旅費交通費	20,000 80,000	仮払金	100,000
5	未収入金	1,100,000	土地 固定資産売却益	1,030,000 70,000

・解説

1. 手形の割引に関する問題です。

手形は満期日に決済されますが、満期日前であっても銀行に手形を持参して一定の手数料を支払うことにより、手形を現金化することができます。

手形の割引日から満期日までの利息相当分は、**手形売却損勘定で費用処理**します。なお、利息の金額は問題文で与えられることが多いですが、第 138 回の間 3や第 145 回の間 3のように自分で算定する必要がある場合は、問題の指示に従って日割計算をしてください。

■仮に「手形代金が 250,000 円、割引日から満期日までの期間が 73 日、割引率が 1%」の場合

$$250,000 \text{ 円} \times 1\% \times 73 \text{ 日} / 365 \text{ 日} = 500 \text{ 円}$$

手形の割引に関する問題は、第 109 回の間 4や第 125 回の間 5、第 128 回の間 1、第 130 回の間 5、第 135 回の間 2、第 137 回の間 4、第 138 回の間 3、第 141 回の間 1、第 145 回の間 3でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. 有価証券の購入に関する問題です。

有価証券を購入した場合は、取得原価に付随費用（取得に伴い発生した費用）を含めて資産計上します。

$$\text{取得原価} = \text{購入代価} + \text{付随費用} = @100 \text{ 円} \times 2,000 \text{ 株} + 2,000 \text{ 円} = 202,000 \text{ 円}$$

有価証券の購入に関する問題は、第 103 回の間 5や第 108 回の間 4、第 121 回の間 5、第 124 回の間 5、第 133 回の間 1、第 138 回の間 1、第 143 回の間 1、第 148 回の間 3でも出題されているので、あわせてご確認ください。

3. 手形借入金に関する問題です。

借り入れにあたって借用証書の代わりに手形を振り出した場合、**通常の借入金と区別するために手形借入金勘定を使って処理**します（仕訳の考え方や処理方法は、通常の借入金と同じです）。

- ・借用証書による借り入れ…借入金勘定で処理
- ・約束手形による借り入れ…**手形借入金**勘定で処理

本問は、問題文の「**約束手形を振り出して ¥ 300,000 を借り入れ**」の部分がポイントになるので、見落とさないように注意してください。

手形借入金に関する問題は第 107 回の問 3や第 139 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 仮払金に関する問題です。

解答にあたっては、まず仮払時の仕訳をイメージしましょう。

☆参考・仮払時の仕訳

(借) 仮 払 金 100,000 / (貸) 現金 など 100,000

上記の仕訳を踏まえたうえで、仮払金 100,000 円のうち 20,000 円は**現金**で戻ってきたので現金で処理し、残りの 80,000 円 (=100,000 円-20,000 円) を**旅費交通費**で処理します。

★解答仕訳

(借) 現 金 20,000 / (貸) 仮 払 金 100,000

(借) 旅費交通費 80,000

■仮に旅費が 120,000 円だった場合は？

旅費の実際発生額が仮払時の概算額よりも多かった場合、従業員が不足分を立て替えた形になります。

よって、旅費が 120,000 円だった場合は、不足分 20,000 円 (=120,000 円-100,000 円) を従業員に支払って精算します。

☆参考・実際発生額 > 概算額の場合の仕訳

(借) 旅費交通費 120,000 / (貸) 仮 払 金 100,000

(貸) 現 金 20,000

仮払金に関する問題は、第 100 回の問 4や第 110 回の問 3、第 115 回の問 5、第 124 回の問 4、第 129 回の問 4、第 146 回の問 5でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 固定資産の売却・未収入金に関する問題です。

土地は、建物や備品などと違って**減価償却を考慮する必要がない**ので仕訳自体は簡単ですが、本問のように購入時に手数料が発生している場合は、売却損益を計算するさいに気をつけてください。

土地の取得原価 = 1,000,000 円 + 30,000 円 = 1,030,000 円

☆参考・購入時の仕訳

(借) 土地 1,030,000 / (貸) 現金 など 1,030,000

売却損益は、売却時の帳簿価額と売却価額との差額で計算します。なお、売却価額 1,100,000 円は商品売買以外の取引で発生した債権なので、売掛金ではなく未収入金で処理します。

- ・売却時の帳簿価額=1,030,000 円
- ・売却価額=1,100,000 円
- ・差額=70,000 円（帳簿価額<売却価額…**売却益**）

固定資産の売却に関する問題は、第 102 回の間 2や第 105 回の間 2、第 108 回の間 1、第 115 回の間 4、第 120 回の間 3、第 122 回の間 5、第 132 回の間 2、第 134 回の間 1、第 135 回の間 3、第 136 回の間 2、第 137 回の間 3、第 138 回の間 2、第 142 回の間 1、第 146 回の間 2、第 149 回の間 5でも出題されているので、あわせてご確認ください。